

# 多言語多文化共生センター [社会貢献部門]

## 2022 年度実績

2023 年 5 月 15 日

### 1. 事業の柱

#### (1) 多文化共生人材育成事業

1. 専門通訳養成講座の開催 — p.2
2. 外部機関と大学との多文化共生に関わる連携事業 — p.2

#### (2) 言語文化サポーター事業

1. 言語文化サポーターの組織化と活用 — p.3
2. 言語文化サポーター等育成講座の開催 — p.8

#### (3) 外国につながる子どもたち支援事業

1. 「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント (DLA)」の普及および改善 — p.9
2. 「外国につながる子どもたちのための教材」(5 言語) の公開 — p.10
3. 日本語教育や教科学習の充実化にかかわる調査研究および教材開発 — p.12

#### (4) 世界の知の還元

1. TUFUS Cinema — p.16
2. 講演会・セミナー等の開催 — p.18

#### (5) 多文化共生活動助成事業 — p.21

### 2. 広報活動

1. ウェブサイト運営 — p.21
2. 情報発信 — p.22
3. 名義後援 — p.22
4. その他 — p.22

### 3. 外部予算の獲得 — p.23

### 4. 人材バンク構想 — p.23

### 5. センター運営 (社会貢献部門) — p.23

# 1.事業の柱

## (1) 多文化共生人材育成事業

### 1. 専門通訳講座の開催

#### <計画>

多文化共生人材の育成を視野に、異なる言語と文化の間に立ち、コミュニケーションの円滑化にあたるスペシャリストを養成するため、専門通訳養成講座を開講する。司法通訳の育成にあたる専門通訳養成講座に比べ、医療通訳の分野でも講座開講の可能性を探る。

#### <実績>

青山学院大学との連携のもと、2022 年度「司法通訳養成講座」を全講座オンラインにて開講した。

[開講言語：ポルトガル語(10名)、フィリピン(タガログ)語(4名)、ミャンマー(ビルマ)語(6名)]

また、2023 年度募集についても、オンラインで募集、選考を行い、日本国内はもとより、海外からの受講生も獲得した。

【最終受講者:19名】( )内は海外在住者  
タイ語：7名(1名) / 母語タイ語(1名)  
スペイン語：1名  
ベトナム語：11名(1名) / 母語ベトナム語(7名)

●選考等の詳細は以下のとおり。

( )内は海外在住者

開講言語	応募者 28名	一次審査合格者 22名	最終合格者 21名
タイ語	9名(1名)	7名(1名)	7名(1名)
スペイン語	5名(1名)	4名(1名)	3名(1名)
ベトナム語	14名(1名)	11名(1名)	11名(1名)

### 2. 外部機関と大学との多文化共生に関わる連携事業

#### <計画>

多文化共生人材育成等の講座を開催するにあたり、外部機関と連携して実施する。また外部機関が多文化共生人材育成を行う際に、適宜講師の紹介等を行なう。

#### <実績>

連携機関名	連携内容	備考
東京地方検察庁	11/19(金) 東京地方検察庁主催の研修会に協力 (内藤先生、中・越講師の派遣)	2018(平成30)年 4月18日付で連携・

		協力をする旨の覚書を締結
東京都教育庁	日本語指導ハンドブック（試行版）の開発	
警察庁、警察大学校	○出張講義に協力（いずれも青山亨先生） ・5/17（月）インドネシア情勢について 「国際協力課程」入所生 12 名、「国際協力課程」事務担当者 4 名 合計 16 名参加 ・1/4（火）イスラーム文化について ○国際日本学部学生 5 名によるインタビューに協力いただいた	相互に講師を派遣するなどの研修の実施
漢字教材のアプリ化（電通大との連携事業）	ポルトガル、タイ、スペイン、ベトナム、フィリピンの各言語での漢字カードアプリを開発	外国に繋がる児童への学習支援に役立つ漢字学習アプリ教材の開発（ポルトガル、タイ、スペイン、ベトナム、フィリピン。新規として英語及びベンガル語にも着手）
外国人技能実習機構	各種委員会に委員を派遣	
イミグレーション・ミュージアム・東京	12/11（土）～26日（日）/展覧会（足立区）で、ポルトガル語劇に関する活動を紹介	
群馬県大泉町	・11月26日（金）役場が主催するオンラインの事業へ学生1名を派遣 ・12月12日（日）ポルトガル語劇実施	
駐日ブラジル大使館との連携事業（ブラジル独立200周年記念事業）	6/30（木）アゴラグローバル【ブラジル独立200周年記念事業 オスカル・ナカザト氏講演会「ブラジルにおける日系人のハイブリッド・アイデンティティ」】	

## (2) 言語文化サポーター事業

### 1. 言語文化サポーターの組織化と活用

#### <計画>

卒業生等を言語文化サポーターとして登録し、在日外国人支援や国際イベント、翻訳プロジェクト等に紹介することで、人材の活用を図る。活用の柱は次の3つ。

#### A. 在日外国人支援

社会貢献活動として、次のような活動を行なう。

- ◆ 弁護士会との連携により、無料相談会開催時の通訳協力として言語文化サポーターを紹介する。

- ◆ 教育委員会等からの依頼に基づき、通訳・翻訳業務に言語文化サポーターを紹介する。また状況に応じて、学内他組織等に協力を仰ぐ。

### **B. 国際イベントへの参加**

スポーツや文化に関わる国際的な催しや国際交流イベント実施のためのスタッフとして言語文化サポーターを紹介する。

### **C. 翻訳プロジェクトへの協力**

外部機関や出版社等より、翻訳プロジェクトへの協力の依頼があった際に言語文化サポーターを紹介する。

## <実績>

① 言語文化サポーター登録者（実人数 **418** 名）、言語別延べ人数 **654** 名）

■ 言語別（延べ人数 **654** 名、**39** 言語） ※メール未達者削除

	言語	延べ人数							合計
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	※	2022年度	
1	英語	85名	17名	19名	6名	27名	10	116名	<b>260名</b>
2	中国語	20名	7名	4名	1名	6名	1	23名	<b>60名</b>
3	スペイン語	19名	5名	4名	-1名	7名		24名	<b>58名</b>
4	フランス語	9名	1名	2名	0名	4名	1	12名	<b>27名</b>
5	ポルトガル語(含ブラジル)	7名	3名	2名	0名	2名		12名	<b>26名</b>
6	朝鮮語	5名	2名	2名	1名	0名	1	5名	<b>14名</b>
7	ペルシア語	7名	0名	0名	0名	2名		3名	<b>12名</b>
8	タイ語	4名	3名	0名	-1名	4名		4名	<b>14名</b>
9	トルコ語	5名	1名	0名	0名	5名		1名	<b>12名</b>
10	インドネシア語	5名	0名	1名	0名	4名		5名	<b>15名</b>
11	ロシア語	3名	0名	2名	4名	6名	2	15名	<b>28名</b>
12	ベトナム語	2名	1名	1名	0名	1名		2名	<b>7名</b>
13	イタリア語	1名	0名	2名	2名	3名		3名	<b>11名</b>
14	マレー語(マレーシア語)	3名	0名	0名	0名	2名	1	2名	<b>6名</b>
15	ドイツ語	2名	1名	0名	0名	1名		9名	<b>13名</b>
16	台湾語	2名	0名	0名	0名	1名		1名	<b>4名</b>
17	モンゴル語	2名	0名	0名	0名	3名		2名	<b>7名</b>
18	グーリー語	2名	0名	0名	0名	2名		0名	<b>4名</b>
19	ヒンディー語	1名	0名	1名	0名	1名		1名	<b>4名</b>
20	ビルマ語	1名	0名	1名	1名	0名	1	3名	<b>5名</b>
21	タガログ(フィリピン)語	1名	0名	0名	0名	3名		6名	<b>10名</b>

22	ウズベク語	1名	0名	0名	0名	0名		1名	2名
23	ウイグル語	1名	0名	0名	0名	0名		0名	1名
24	アゼルバイジャン語	0名	1名	0名	0名	0名		0名	1名
25	ウルドゥー語	0名	1名	0名	0名	1名		1名	3名
26	スロベニア語	0名	1名	0名	0名	0名		0名	1名
27	カンボジア語	0名	0名	1名	0名	1名		0名	2名
28	ベンガル語	0名	0名	1名	0名	0名		0名	1名
29	チェコ語	0名	0名	0名	0名	1名		1名	2名
30	ラトビア語	0名	0名	0名	0名	1名		0名	1名
31	スワヒリ語	0名	0名	0名	0名	1名		0名	1名
32	セブアノ語	0名	0名	0名	0名	1名		0名	1名
33	ジャワ語	0名	0名	0名	0名	1名		0名	1名
34	タジク語	0名	0名	0名	0名	1名		0名	1名
35	ポーランド語	0名	0名	0名	0名	1名		4名	5名
36	ラオス語	0名	0名	0名	0名	1名		2名	3名
37	ルウェー語	0名	0名	0名	0名	0名		1名	1名
38	アラビア語	0名	0名	0名	0名	0名		1名	1名
39	日本語	0名	0名	0名	0名	9名		20名	29名
	合計	188名	44名	43名	13名	103名	17	280名	654名

■所在地別（実人数 418名）※メール未達者の削除作業実施（2022年）

	所在地	実人数							合計
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	(削除)※	2022年度	
1	東京都	66名	12名	15名	5名	35名	3	83名	213名
2	神奈川県	18名	6名	6名	2名	3名	1	26名	60名
3	埼玉県	14名	1名	2名	1名	6名	3	20名	41名
4	千葉県	8名	1名	5名	0名	2名	1	17名	32名
5	茨城県	1名	3名	0名	0名	0名		2名	6名
6	新潟県	1名	0名	0名	0名	0名		0名	1名
7	愛知県	1名	0名	1名	1名	2名	2	8名	11名
8	青森県	0名	1名	0名	0名	0名		0名	1名
9	群馬県	1名	0名	0名	1名	0名		0名	2名

10	山梨県	1名	0名	0名	1名	0名	1	0名	1名
11	静岡県	1名	0名	0名	0名	0名		3名	4名
12	京都府	1名	0名	0名	1名	1名		0名	3名
13	大阪府	1名	0名	0名	0名	0名		2名	3名
14	兵庫県	1名	0名	0名	0名	0名		2名	3名
15	広島県	1名	0名	0名	1名	0名		2名	4名
16	福岡県	1名	0名	0名	0名	0名		0名	1名
17	沖縄県	1名	0名	0名	0名	0名		1名	2名
18	長野県	0名	0名	0名	0名	2名		1名	3名
19	高知県	0名	0名	0名	0名	1名		0名	1名
20	北海道	0名	0名	0名	0名	1名		1名	2名
21	岐阜県	0名	0名	0名	0名	0名		5名	5名
22	島根県	0名	0名	0名	0名	0名		1名	1名
23	佐賀県	0名	0名	0名	0名	0名		1名	1名
24	熊本県	0名	0名	0名	0名	0名		2名	2名
25	富山県	0名	0名	0名	0名	0名		1名	1名
26	宮城県	0名	0名	0名	0名	0名		2名	2名
27	岩手県	0名	0名	0名	0名	0名		1名	1名
28	栃木県	0名	0名	0名	0名	0名		2名	2名
29	香川県	0名	0名	0名	0名	0名		1名	1名
29	イギリス	1名	0名	0名	0名	0名		0名	1名
30	スペイン	0名	0名	0名	0名	1名		0名	1名
31	中国	0名	0名	0名	0名	1名		0名	1名
32	ドイツ	0名	1名	0名	0名	0名		0名	1名
33	チェコ共和国	0名	0名	0名	0名	1名		0名	1名
34	台湾	0名	0名	0名	0名	1名		1名	2名
34	タイ	0名	0名	0名	0名	0名		1名	1名
	合計	119名	25名	29名	13名	57名	11名	186名	418名

② 紹介・情報提供 10 件、紹介人数延べ 12 名

	団体名	活動日	活動の詳細	紹介人数（延べ）	活動人数
1	東京都立墨東病院	2022年7月7日（木） 10：00～10：30	診察時のコミュニケーションサポート	ヒンディー語 1 名	1
2	東京都立墨東病院	2022年7月28日（木） 14:00～16:00	患者の国際搬送に向けての家族・エージェントとの打ち合わせ	ロシア語 1 名	1
3	文京区多言語サポートネットワーク	2022年9月4日（日） 13：00～17：00	リレー相談会	英語 1 名	1
4	国際化拠点室経由依頼	2022年10月5日～ 11月30日（1.5H～2H） 全17回	アフガニスタン退避家族への英語学習支援ボランティア	英語 1 名	1
5	NPO 法人多文化共生センター内多文化共生スクールサポートセンター	2022年11月26日（金） 13:50～15:50	在京外国人生徒特入試説明会における通訳（都立南葛飾高等学校）	英語 1 名	1
6	法テラス 本部国際室	2022年12月初旬 →先方都合キャンセル	青森県の警察署での容疑者通訳	ベトナム語 1 名	0
7	第二東京弁護士会 国際委員会	2022年12月19日（月） 11:00～15：00	無料相談会の通訳	英語 1 名 ポルトガル語 1 名 中国語 1 名	3
8	第二東京弁護士会 国際委員会		無料相談会チラシの翻訳チェック	中国語 1 名 ポルトガル語 1 名	2
9	公益社団法人 Marriage For All Japan	2023年1月12日（木） 15:00～18：00 2023年1月13日（金） 9：00～12：00	国際交流・国際理解教育イベントスタッフ	英語 1 名	1
10	関東弁護士会連合会	2023年2月10日（金） 中国語 13：00～14：00 英語 14：00～15：00	東日本入国管理センター臨時法律相談会	中国語 1 名 英語 1 名 ※相談者なしのため キャンセル	0

■ 言語別紹介人数（言語 実人数 14名、延べ人数 12名）

	言語	人数（募集人数）	人数（延べ人数）	実活動人数
1	英語	6名	5名	5名
2	中国語	3名	2名	1名
3	ポルトガル語	2名	2名	1名
4	ロシア語	1名	1名	1名
5	ヒンディー語	1名	1名	1名
6	ベトナム語	1名	1名	0名
	合計	14名	12名	9名

## 2. 言語文化サポーター等育成講座の開催

＜計画＞ 卒業生等を言語文化サポーターとして登録し、在日外国人支援や国際イベント、翻訳プロジェクト等に紹介することで、人材の活用を図る。活用の柱は次の3つ。

＜実績＞ 言語文化サポーター向けの研修（語学講座）を2講座（4言語）開講し、計23名が参加

名称	会場	日時	受講者	内容
言語文化サポーター向け研修 「生活支援のためのウクライナ語講座」	Zoomによるオンライン開催	2022年7月 毎週土曜日 (全5回) 19:00-20:30	8名	英語によるウクライナ語講座 ①行政サービス ②日常生活 ③教育 ④医療 ⑤平時、災害時・非常事態下の安全について 講師：ロマノヴァ・ヴァレンティナ先生
言語文化サポーター向け研修 「生活支援のための語学講座（英	Zoomによるオンライン開催 (3言語/1回 90分/全4回)	【英語】 8/6・8/7・8/13・ 8/14 10:00～11:30	9名	講師：宮城京子先生

語・スペイン語・インドネシア語) ※	【スペイン語】 8/6・8/13・8/20・ 8/27 9 : 15～10 : 45	5 名	講師：岩田久美先生
	【インドネシア語】 8/6・8/20 11 : 00～12 : 30 8/12・8/26 14 : 00～15 : 30	1 名	講師：原美雪先生

※中国語は受講申込者がいなかったため、開講せず

### (3) 外国につながる子どもたち支援事業

#### 1. 「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント (DLA)」の普及および改善

##### <計画>

DLA の普及を図るために関連資料を公開するとともに、これらの活用者からのフィードバックを得ながら、日本語を学ぶ子どもを対象にした漢字や算数の教材をウェブサイトで公開し、本アセスメントの改善を試みる。また本学学部・大学院等における DLA 学習授業、教育委員会や小中学校教員等を対象にした DLA 普及にかかわる研修等を多言語で実施する。

##### <実績>

- ・2019（令和元）年度より設置された文部科学省「外国人児童生徒等教育アドバイザー」の委嘱により、自治体からの求めに応じて教員研修講師を務めたほか、文科省・自治体の施策立案への助言等の活動を行った。また、自治体からの個別依頼に応じて研修を企画したほか、多言語多文化共生センターに寄せられたメール等での問い合わせに対する回答・アドバイス等を行った。
- ・5/20（金）岩手県教育委員会 外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA の概要とその活用の意義 [20 名／遠隔 zoom 使用]
- ・6/21（火）浜松市教育センター DLA 外国人児童生徒教科指導員研修 [60 名／対面]
- ・6/27（月）岐阜県総合教育センター 外国人児童生徒への指導力向上講座 [20 名／対面]
- ・9/13（火）埼玉県・島根県合同 日本語指導法講座研修 [30 名／遠隔 zoom 使用]
- ・1/6（金）四街道市中央小学校 外国にルーツを持つ児童への日本語指導の進め方  
－ 段階的日本語指導の手順について － [40 名／対面]

②『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント (DLA) <聴く>』で使用する聴解用映像の修正版をホームページで引続き公開した。

【A1. えんそく】 <https://www.youtube.com/watch?v=YhgNPqcLquc&feature=youtu.be>

【A2. うんどうかい】 <https://www.youtube.com/watch?v=TEjnFJHEp1g&feature=youtu.be>

【A3. 工場見学】

[https://www.youtube.com/watch?v=C\\_pMQiOwdd4&feature=youtu.be](https://www.youtube.com/watch?v=C_pMQiOwdd4&feature=youtu.be)

【B4. えんそくのおしらせ】<https://www.youtube.com/watch?v=aDsdZhIGC2Y&feature=youtu.be>

【B5. トマトのさいばい】 <https://www.youtube.com/watch?v=7UglVUhTICA&feature=youtu.be>

【B6. ごみのゆくえ】 <https://www.youtube.com/watch?v=qYfVhHxnTfA&feature=youtu.be>

【B7. エネルギー】

<https://www.youtube.com/watch?v=k2YvTGW7kTA&feature=youtu.be>

【B8. 地震】

<https://www.youtube.com/watch?v=jBJARVjh1FA&feature=youtu.be>

③ 2016 (平成 28) 年度に作成した「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント (DLA)」の使い方映像マニュアルをホームページで引続き公開した。

【1 『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA』概要】

<https://www.youtube.com/watch?v=f8QChp2FdLM&feature=youtu.be>

【2 はじめの一步】 <https://www.youtube.com/watch?v=0fQAv2YWSCU>

【3 話す】 [https://www.youtube.com/watch?v=CT1B\\_ZQFDFw&t=6s](https://www.youtube.com/watch?v=CT1B_ZQFDFw&t=6s)

【4 書く】 <https://www.youtube.com/watch?v=4YFMiUW86hY&t=2s>

【5 読む】 <https://www.youtube.com/watch?v=LuKBRft9f0s>

【6 聴く】 <https://www.youtube.com/watch?v=B4DWDLyYHn0&t=35s>

## 2. 「外国につながる子どもたちのための教材」(5 言語) の公開

### <計画>

日本語を学ぶ子どもを対象にした漢字や算数の教材をウェブサイトで公開し、学校での取り出し授業等での活用を図る。またギガスクール構想に対応するため、教材のアプリ化を図る一助とする。

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/social.html>

### <実績>

・教材ホームページ訪問数 91,979 件 (2022 年度 : 91,979 件)

- ① ポルトガル語版 在日ブラジル人児童のための教材（漢字・算数）
- ② タガログ語／英語版 在日フィリピン人児童のための教材（漢字・算数）
- ③ スペイン語版 南米スペイン語圏出身児童のための教材（漢字・算数）
- ④ ベトナム語版 ベトナム出身児童のための教材（漢字）
- ⑤ タイ語版 在日タイ語圏児童のための教材（漢字）
- ⑥ ポルトガル語版 在日ブラジル人のための自習用漢字教材

	①	②	③	④	⑤	⑥	合計
4月	3,489	3,113	1,150	505	1,107	1,159	<b>10,523</b>
5月	2,155	3,327	1,273	613	1,085	917	<b>9,370</b>
6月	1,906	2,640	1,357	510	1,127	860	<b>8,400</b>
7月	1,705	1,869	1,125	506	1,000	885	<b>7,090</b>
8月	1,513	1,590	952	549	1,065	875	<b>6,544</b>
9月	1,626	2,898	990	600	925	888	<b>7,927</b>
10月	1,718	2,396	990	600	774	928	<b>7,406</b>
11月	1,567	2,456	891	780	853	720	<b>7,267</b>
12月	1,534	1,848	871	501	712	805	<b>6,271</b>
1月	1,548	1,282	843	467	819	912	<b>5,871</b>
2月	1,555	1,997	877	451	723	222	<b>5,825</b>
3月	2,373	3,026	1,259	782	1,008	1,077	<b>9,525</b>
計	22,649	28,442	12,578	6,864	11,198	10,248	<b>91,979</b>

※ 京都大学が運営している言語グリッドが提供する「多言語掲示板」のウェブページに「外国につながる子どもたちのための教材開発」ページが掲載されている。

[http://langrid.org/tools/tufs/?ml\\_lang=ja](http://langrid.org/tools/tufs/?ml_lang=ja)

（運営：2007年7月より京都大学大学院社会情報学専攻、2017年11月より言語グリッドアソシエーション）

・電気通信大学との連携により、漢字教材のアプリを開発(英語、ベンガル語、フィリピン語、タイ語、ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、および日本語の8言語に対応)

公立小・中・高等学校等における日本語指導が必要な児童生徒の数は、年々増加の一途をたどっており、2022年10月18日に文部科学省が公表した「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（令和3年度）」によれば、58,307人（2021年5月1日現在、前年比14%増）とされている。

近年の新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、子どもたちの学びの場が大幅に制限されてきたことも懸念されている。



出典：「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（令和3年度）」



### 【開発の経緯】

今回のアプリ開発に当たっては、アニメーションや効果音などを活用して、楽しく手軽に学ぶことができる子ども向けの学習環境が必要であると考え、情報通信の分野で高い実績を持つ電気通信大学と連携して、専用アプリの開発に取り組んだ。

本取り組みにより、文部科学省が推進するGIGAスクール構想など、教育分野におけるDX化が更に加速するものと期待される。

実際に専用アプリを学校やNPOなどの現場の人たちにモニターとして操作体験してもらい、意見をフィードバックしてもらった。

専用アプリの開発は、電気通信大学発のベンチャー企業である株式会社CodeNextが担当した。

また、本アプリの元となった冊子版の教材では5言語での展開だったが、更に英語版、ベンガル語版が追加された。

### 【機能】

- 書き順の習得、文字の形からその字の読みや意味を学べるなど、描画と連動する機能
- ドリル型の設問に効果音を加え、クイズ感覚で進められる工夫
- 漢字の読み方を音声で聴くことが可能
- 自分の声や講師の声などを何度でも聴き直すことができるよう録音機能を搭載



## 3. 日本語教育や教科学習の充実化にかかわる調査研究及び教材開発

＜計画＞ 日本語指導が必要な児童生徒を対象にした日本語教育や教科学習に役立つ調査研究および教材開発に取り組む。

### ＜実績＞

・「令和4年度高等学校等における日本語能力評価に関する予備的調査研究事業（文部科学省）採択

文部科学省の委託研究「高等学校等における日本語能力評価に関する予備的調査研究事業」では、委託要項の委託内容に従って、①高校段階の外国人生徒等のための「書く力」の評価参照枠の能力記述文（案）策定、②日本語能力把握の先進的な取り組み事例の提示に取り組んだ。1年間という短期間での研究であったため、多彩なメンバーで研究メンバー（推進委員）を構成した。

<事業推進委員（50音順、敬称略）>

畔上 智洋 独立行政法人国際協力機構（JICA）広報部地球ひろば推進課 課長（9月より～）  
阿部 新 東京外国語大学大学院国際日本学研究院 准教授／分析チーム  
安野 勝美 NPO 法人おおさか子ども多文化センター 理事  
伊東 祐郎 国際教養大学 専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 日本語教育実践領域代表  
教授／東京外国語大学 名誉教授  
榎井 縁 大阪大学大学院人間科学研究科 特任教授／実践チーム（大阪 WG）  
大津 友美 東京外国語大学大学院国際日本学研究院 准教授／学長特別補佐  
大西 俊猛 大阪府立大阪わかば高等学校 校長／実践チーム（大阪 WG）  
奥村 真紀子 独立行政法人国際協力機構（JICA）国内事業部外国人材受入支援室 室長（～8月まで）  
小島 祥美 東京外国語大学 世界言語社会教育センター 准教授、多言語多文化共生センター長／事業推進  
委員長／実践チーム（岐阜 WG リーダー）  
小林 洋輔 独立行政法人国際協力機構（JICA）国内事業部外国人材受入支援室 室長（9月より～）  
齋藤 克義 独立行政法人国際協力機構（JICA）広報部地球ひろば推進課 課長（～8月まで）  
櫻井 千穂 大阪大学大学院人文学研究科 准教授／実践チームリーダー（大阪 WG リーダー）  
佐野 愛子 立命館大学 文学部 教授／分析チームリーダー  
澁谷 和朗 独立行政法人国際協力機構（JICA）中国センター市民参加協力課 課長  
嶋原 耕一 東京外国語大学 世界言語社会教育センター 講師／分析チーム  
高橋 清樹 認定 NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ 事務局長  
田中 秀樹 神奈川県教育委員会教育局指導部 高校教育課高校教育企画室 国際・情報教育グループ 主任  
主事兼指導担当主事  
武田 千香 東京外国語大学 理事・副学長、大学院総合国際学研究院 教授  
中島 和子 トロント大学 名誉教授  
橋本 正司 大阪府教育委員会 教育長  
堀 貴雄 岐阜県教育委員会 教育長  
松田 真希子 金沢大学 融合科学系 教授／分析チーム  
吉田 益穂 岐阜県立東濃高等学校 校長／実践チーム（岐阜 WG）

ワーキング・グループ

大阪 WG：大阪府立大阪わかば高等学校 教員

甲田 菜津美 田川 ひかり 森山 玲子

岐阜 WG：岐阜県立東濃高等学校 教員

安達 聡子 高木 志保 田中 誠二（教頭） 野田 潤哉（教頭） 和田 さとみ

事務局・東京外国語大学 多言語多文化共生センター

小段 真代 増谷 由里佳

本事業の目標に向けて、推進委員では「分析チーム」と「実践チーム」を設定した。このチームが中心となって取り組んだ具体的な内容について、研究目標別に以下に示す。

●研究目的① 高校段階の外国人生徒等のための「書く力」の評価参照枠の能力記述文（案）策定にむけて

研究目的①にむけて、1) 高校段階で求められる「書く力」の把握のための日本語を母語とする高校生の作文調査、2) 国内外の言語能力評価（能力記述文）に関する文献調査、3) 2つの実践モデル校での多言語作文評価に基づく授業実践を実施し、それを踏まえて、外国人生徒等の「ことばの教育の参照枠」<書く力>の記述文（試案）を作成した。

1) では神奈川県、大阪府、岐阜県の協力を得て 5つのジャンル（意見文、説明文、描写文、課題文、ナラティブ）の作文課題を、日本語を母語とする高校生を対象に実施し、2,219本の作文を分析対象として7つのトレイトおよびジャンル特有の1つから2つのトレイトに基づくルブリック評価を行った。その結果、日本語を母語とする高校生は「一貫性」、「結束性と構成」はおおむね問題ない文章を書けるが、「読み手意識」や「ヴォイス」、「レトリック」等はまだまだ発達/習得の途上であることが確認された。

2) では母語話者のための指標として、①高等学校学習指導要領国語の「書く」、②アメリカ合衆国の Common Core State Standards の Writing Standards 9-12年生、第二言語学習者のための指標として、③日本語教育の参照枠、④対話型アセスメント DLA、⑤個別の指導計画の学習目標例～初期段階～、⑥アメリカ WIDA の表現コミュニケーションモード記述文 9-12年生、⑦⑧カナダのオンタリオ州の ESL および ELD プログラムの 9-12年生記述文を参照し、その特徴を分析した。

3) では日本語指導が必要な生徒に対し、1) の5つの作文課題をベースに多言語作文を縦断的に実施して生徒の日本語能力の変容を観察しつつ、それを踏まえた教育実践をおこなった。その結果、日本語力のレベルとその後の伸びは滞日時間と入国年齢、そして、母語（第一言語）の力に加え、学習環境要因が大きく影響していることが確認された。また、特に、学習から長期間周縁化されてきた生徒に対しては日本語の表面的な知識（文法、語彙・表現、漢字等）のみならず、学習要領にも定められている思考力・判断力・表現力および学習に向かう力の育成を目指した指導、そのために、母語（第一言語）も含めた生徒が持つ全ての力を活用できる指導が有益であることが確認された。

これら3つの調査研究の結果をふまえ、外国人生徒等への教育に資する「ことばの力の参照枠」として、日本語固有の知識・技能と、いずれかの言語/全ての言語レパートリーを使ってできること（複数言語での横断的な能力）の両面を6つのステージにより捉えようとする枠組みを構築した。その枠組みに沿って、高校段階で必要とされる教科学習言語能力の獲得のための「書く力」として、計46の記述文（試案）を作成した。

なお、事業の開始において計画書に記載したとおり、この記述文の妥当性の検証までは、時間的制約から本事業の成果に含まれてはいないため、今後の課題とする。

●研究目的② 日本語能力把握の先進的な取り組み事例の提示にむけて

研究目的②にむけて、1)外国人生徒等の日本語能力把握に関する実態調査と、それを踏まえての2)ヒアリング調査を行った。

1)では、質問紙を用いて取り組んだ。質問紙の作成にあたっては高校現場（回答者）への負担軽減を最も重要視し、質問項目を最小限に工夫した。また、調査の回答にあたっては、各高校の状況に合わせて質問紙への直接記入（手書きや Word ファイルへの入力）だけでなく、オンライン（web）形式での対応も準備した。

本調査の対象は、神奈川県、大阪府、岐阜県のすべての公立高校に加えて（悉皆調査）、外国人生徒等を対象にした入試時の特別措置や特別入学枠の内容が全国のなかでも特徴的な自治体が設置する公立高校から15校を選定した（選定調査）。その結果、悉皆調査の回答率は神奈川県が93.0%、大阪府が89.5%、岐阜県が100.0%、また選定調査の回答率はいずれも100.0%と、非常に高い回答率であった。これらを基に分析し、先進的な取り組みを行う高校で重要視されている2点を明らかにした。

2) では、1) の結果を踏まえて、個別に高校を訪問してヒアリング調査を実施した。それらの内容を学校名と学校種別、グッド・プラクティスのポイントのみならず、生徒数（アンケート調査時の回答）およびスクールポリシー／アドミッションポリシーの基本情報も加えて、地域順に 9 校の具体的な取り組みを提示した。

これらの成果報告書は、年度末に文部科学省に提出した。文部科学省からの公開許可後に、当センターのウェブでも同報告書を紹介予定である。また、本事業の成果である高校生の作文（研究目的 1 の 1）についても、当センターウェブで紹介予定である。なお、第 2 回事業推進会議を一般公開（オンライン傍聴会）として実施することで、本事業の成果を広く一般にも伝えることも行った。

●開催の案内

[http://www.tufs.ac.jp/event/2022/230211\\_1.html](http://www.tufs.ac.jp/event/2022/230211_1.html)

●開催後の報告

[http://www.tufs.ac.jp/NEWS/trend/230227\\_1.html](http://www.tufs.ac.jp/NEWS/trend/230227_1.html)

●本事業の紹介

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/cat2876/post-50.html>

・JSL 高校社会科教材プラットフォームの作成

大学入学を目指す留学生、都立高校で学ぶ JSL（Japanese as a Second Language）生徒にとって、社会科の学習が大きな壁となっている。これは、日本語力の不足とともに、日本に関する基礎知識を欠くことも大きな要因である。そこで、日本で初等・中等教育を受けてこなかった生徒の社会科学習を支援するため、新たな学習指導要領に則した 4 分野（歴史総合、地理総合、公共、日本史探究）で、やさしい日本語と多言語によるテキスト、予習用シート、ワークシート等の教材を作成し、教育現場での活用を目指すこととした。

JSL 生徒の抱える課題は多様であり、全ての生徒に合った形での教材は望むべくもないが、テキストの情報量を絞り、やさしい日本語で単元の概要の理解を助けること、ワークシートに取り組むことを通して知識の定着および日本語の運用力向上を図ること、文字情報以外にも映像情報などを活用すること、知識を前提としない活動を通して自発的な情報収集を促すこと等に力点を置いて開発を進めている。開発メンバーは、本学教員および本学の多言語多文化共生センター専門員のほか、現職の高校教諭、他大学の社会科教員である。

2024 年 3 月の公開を目指している。初めて JSL 生徒を担当し、指導の仕方に悩んでいる教員が、公開された教材から、JSL 生徒にとってどのような支援が必要、もしくは有効であるかのヒントを得て、それぞれの教育現場にあわせた形で活用、もしくはカスタマイズすることをねらって、「プラットフォーム」という名称を用いている。このため、NHK for school を始め、活用できるリソースの紹介も行っていく。

なお、近年の IT 技術の発達により機械翻訳の精度も上がってきており、それらの活用が望ましい。ただし、社会科教科書の日本語記述は機械翻訳に適していないため、やさしい日本語へのリライトを介して英語版を作成しておくのがよい。英語版から各々の JSL 生徒の母語への翻訳は比較的精度が高い。これらの取り組みについては、教科書会社の著作権とのすり合わせ等も必要である。

#### (4) 世界の知の還元

##### 1. TUFS Cinema

###### <計画>

世界の諸言語による映画等の上映会（「TUFS Cinema」）をトークセッションとともに開催する。

###### <実績>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上映を見合わせていたが、2022年7月より再開し、18作品を上映した。

	日時	上映作品	制作国（舞台）	講演者など
1	2022年 7月4日（月） 16：30～	『ディーブ THEEB』 監督：ナジ・アブヌワール 2014年/ヨルダン・UAE・カタール・UK/97分 /アラビア語	ヨルダン	トーク：駐日ヨルダン 大使館 タラール マサ ルワ（Talal Masarweh）領事 司会：齋藤公佑（国際 社会学部2年） 大森耀太（国際社会学 部1年）
2	2022年 7月9日（土） 14：00～	『斧は忘れても、木は覚えている』 監督：ラウ・ケクファット 2019年/台湾制作（撮影地：マレーシア） /89分/華語、英語、マレー語、オラン・アスリ 諸語	台湾（マレーシ ア）	盛田茂（立教大学アジア 地域研究所特任研究 員）
3	2022年 8月5日（金） 15：00～	『犬と狼のあいだで』 監督：イレーネ・グティエレス 2020年/スペイン・キューバ・コロンビア /75分スペイン語	キューバ	解説/字幕：新谷和輝 説明：越野剛/濱治桂 トーク：イレーネ・グティエ レス監督
4	2022年 9月10日（土） 14：00～	『ボディガード』 監督：エブラーヒム・ハータミーキヤー 2016年/イラン/105分/ペルシア語	イラン	司会：佐々木あや乃 トーク：森島聡
5	2022年 12月5日（月）	『大地の静脈』 監督：ダワーギーン・ピャンバスレン	モンゴル・ドイツ合作	司会：山越康裕 トーク：上村明

	18:00～	2020年/モンゴル・ドイツ合作/96分/モンゴル語		
6	2022年 12月7日(水) 17:30～	『日本：灰と瓦礫からの復活』 監督：Yusuf Aljinde 脚本・編集：Mohammed AlMasri 2022年/日本/アラビア語、英語、日本語/25分×2本	シリア人留学生制作	トークセッション： 篠田英朗 モハマド・マスリ マフムド・シェイク・フセイン
7	2022年 12月12日(月) 17:30～	『大地と白い雲』 監督：ワン・ルイ(王瑞) 2019年/中国/モンゴル語、中国語/111分	中国(内モンゴル)	トーク：山越康裕
8	2022年 12月13日(火) 17:00～	『緑の山』 監督：フレディ・M・ムラー 1990年/スイス/128分/スイス・ドイツ語、ウーリ語	スイス	トーク：古川高子
9	2022年 12月14日(水) 17:30～	『あの世へ1.4キログラム』 監督：ネイパイ 2009年/ミャンマー/105分/ビルマ語	ミャンマー	トーク：三井優(脚本家・ミャンマー映画祭実行委員会代表) 司会：土佐桂子
10	2022年 12月17日(土) 14:00～	『アクニ〜デリーの香るアパート』 監督：ニコラス・カルコンゴル 2019年/インド/108分/ヒンディー語・英語・ナガ語他	インド	上映後解説： 木村真希子 宮島アトウ
11	2022年 12月19日(月) 16:30～	『リカルド・レイスの死の年』 監督：ジョアン・ポテーリョ 2020年/ポルトガル/132分/ポルトガル語	ポルトガル	講演者：渡辺一史(ポルトガル大使館)
12	2022年 12月24日(土) 15:00～	『エミリーとブレーキー』 『Ark&Maya:All Mixed up』 『Hair〜小さい頃髪が大っ嫌いだった自分へ〜』	日本	講演者：三浦アーク(監督)
13	2022年 12月25日(日) 13:00～	『交霊とイスラーム：バフシの伝えるユーラシアの遺習』 監督：和崎聖日、アドラム・アシーロフ	日本・ウズベキスタン	講演者： 和崎聖日(中部大学人文学部准教授)

		2022年/日本、ウズベキスタン/37分/ ウズベク語、一部アラビア語		アドハム・アシーロフ（ウズベキスタン科学アカデミー 歴史研究所民族詩学・ 人類学センター長） 坂井弘紀（和光大学）
14	2023年 1月7日（土） 14:00～	『雲よりも高く』 監督：ルーン・ディン・ズン 2017年/ベトナム/90分/ベトナム語	ベトナム	トーク：秋葉亜子 Q&A：ルーン・ディン・ズン 監督 司会：今井昭夫
15	2023年 1月8日（日） 14:00～	『モアナ 南海の歓喜』 監督：ロバート・フラハティ 2014年/アメリカ/98分/サモア語/サ ンド版	アメリカ	解説：金子遊（多摩美 術大学准教授/映像作 家） トーク：金子遊、山本真 鳥（法政大学名誉教 授）
16	2023年 1月9日（月） 14:00～	『縁路はるばる』 監督：黄浩然（アモス・ウィー） 2021年/香港/96分/広東語	香港	トーク：小栗宏太 対談：アモス・ウィー×リ ム・カーワイ（映画監督）
17	2023年 2月12日（日） 14:00～	『ジャスト 6.5』 監督：サイド・ルースターイー 2019年/イラン/131分/ペルシア語	イラン	司会：佐々木あや乃 トーク：森島聡
18	2023年 2月18日（土） 14:00～	『ハーミド～カシミールの少年』 監督：エージェーズ・ハーン 2019年/インド/108分/ウルドゥー語、 ヒンディー語	インド	上映後解説：金子淳 （毎日新聞前ニューデリ ー支局長）

## 2. 講演会・セミナー等の開催

### <計画>

本学で蓄積された「世界知」を発信する機会として、講演会・セミナー等を不定期で開催し、日本のグローバル化の大きな力となることを目指す。

### <実績>

外部からの講師を招き、学生・一般向けに講演会を開催した。（NHK ドキュメント上映会 1回、

## VOLASpecial 計 7 回、ボラたいむ計 4 回)

日時	場所	内容	講師	参加者
2022 年 12 月 10 日 (土) 14:00-16:00	研究講 義棟 2 階 226 教 室	NHK 同時ドキュメント 「群馬・ブラジル大統領選挙」 上映会	大島悠也 (NHK ディレク ター)、小島クリッシイリか (大学院博士後期課 程)、安良城桃子 (東京 大学大学院) 司会: 舩方周一郎	30 名

## VOLASpecial

日時	場所	内容	講師	参加者
2022 年 5 月 12 日 (木) 16:00-17:30	Zoom	「ボランティアって、なんだろう？」	木下理仁 氏 かながわ開発教育センター (K-DEC) 事務局長、東 海大学国際学科講師	8 名
2022 年 5 月 25 日 (水) 16:00-17:30	Zoom	あとから来る人たちのために ～カンボジアの地雷処理の現場から平 和構築について考える～	高山良二 氏 認定 NPO 法人国際地雷 処理・地域復興支援の会 (IMCCD) 理事兼カンボ ジア現地代表	22 名
2022 年 6 月 15 日 (水) 16:00-17:30	Zoom	ウクライナ難民支援の現場から～ポーラ ンド・モルドバの実例～	中坪央暁 氏 AAR Japan 東京事務局	38 名
2022 年 10 月 12 日 (水) 16:00-17:30	Zoom	地域にねざしたフェアトレードの活動とま ちづくり	柴山真 氏 フェアトレードむさしの代表 Fair Trade Shop List 事 務局	1 名
2022 年 10 月 19 日 (水) 16:00-17:30	Zoom	オールジェンダートイレって、聞こえはい いけど誰が使うかわからないものをなぜ 作ったんですか？	加藤恵津子 氏 国際基督教大学 人類学 教授	13 名
2022 年 10 月 26 日 (水) 16:00-17:30	Zoom	働きながら社会を変える、国際協力と ソーシャルビジネス	坪井祥太 氏 AfriMedico 理事	12 名

		～すべてのアフリカ人々へ健康と笑顔を～		
2022年10月31日 (月) 16:00-17:30	Zoom	多様性を認め合い 尊重し合う平和な社会へ	松下玲子 氏 武蔵野市長	22名

ボラたいむ

日時	場所	内容	講師	参加者
2022年7月8日 (金) 11:45-12:30	205 教室	私から見たウクライナ	山崎有紗 氏 #SunflowerFrom Japan プロジェクト発起人 (本学卒業生)	5名
2022年12月6日 (火) 11:50-12:35	206 教室	日本語教室ってどんなところ？	言語文化学部4年 高藤 郁咲 (あざみ野日本語クラ ス) 国際社会学部4年 寺館 大輝 (武蔵野市帰国外国 人相談室) 言語文化学部2年 田中 まりの (府中国際交流サロ ン)	13名
2022年12月20日 (火) 11:50-12:35	205 教室	留学中のボランティア体験報告会～バ ングラデシュ・アイルランド編	言語文化学部4年 八百板翼 国際社会学部4年 吉村もも	15名
2023年1月13日 (金) 11:00～12:00	Zoom	ウクライナ支援ボランティアってどんな活 動？現地で何したの？	大学院修士課程1年 片貝里桜 国際社会学部4年 三上夏実 国際社会学部1年 河野友也	3名

## (5) 多文化共生活動助成事業

### <計画>

本学の教員が異なる文化や社会の相互理解を深める目的で実施する多文化共生活動を支援するために助成を行なう。

### <実績>

以下 2 件の採択があった。

採択者	採択事業名	活動時期
大鳥由香子	ドキュメンタリー映画『日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人』 上映会とトーク	2022年7月2日 (土)
望月圭子	「世界の中の日本」－対話・交流から多文化理解・共生へー	2022年7月～ 2023年1月

## 2. 広報活動

### 1. ウェブサイト運営

#### <計画>

ウェブサイト運営し、センターに関する基本情報を発信する。また、活動紹介や講座の受講案内などを積極的に発信する。

#### <実績>

ブログ記事 計 9 件を掲載した

掲載年月日	タイトル
2022年4月26日	言語文化サポーターらが『6カ国語のわくわく絵ずかん 学校のことば』（ほるぷ出版）翻訳等に協力
2022年7月15日	【言語文化サポーター向け研修】生活支援のための語学講座を開講します
2022年7月15日	言語文化サポーター向け生活支援ウクライナ語講座を開講
2022年11月22日	東京外国語大学×青山学院大学「司法通訳養成講座」2023年度受講者募集（タイ語、ベトナム語、スペイン語）
2022年12月6日	公益社団法人栃木経済同友会が本学を訪問
2022年12月12日	第6回多文化社会実践研究フォーラム「新たに見えてきた多文化社会の課題～ウクライナ・アフガニスタン・ミャンマーなどからの難民・避難民への対応を踏まえて」
2022年12月14日	群馬県大泉町でポルトガル語劇を公演
2023年1月4日	【文部科学省委託】高等学校等における日本語能力評価に関する予備的調査研究

	事業
2023年3月31日	多言語版・漢字学習アプリ「たふマルリン」を開発しました

## 2. 情報発信

### <計画>

センターの最新情報や、多言語多文化に関する情報を、団体・個人の希望者に発信する。また登録者が興味を持ちそうな外語大のイベントや講座等も広報することで、大学の社会貢献の窓口として機能することを目指す。

### <実績>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等が自粛されている現状を考慮し、2021年度同様2022年度も配信を停止した。

## 3. 名義後援

### <計画>

他団体が実施する多言語多文化に関するシンポジウム、講演会、イベント等の後援を行なう。

### <実績>

2022年度の名義後援実績はなし

## 4. その他

### <実績>

○新聞・雑誌等への掲載：

[小島祥美准教授]

- ・2022年6月1日 中日新聞 / 「<by 学生スタッフ> コロナ禍が外国籍の子どもたちを直撃 東京外国語大・小島祥美准教授に聴く」
- ・2022年6月8日 NHK 名古屋放送 ハロー！ネイバーズ / 「特集・外国にルーツある子どもが意欲的に授業に参加」
- ・2022年8月29日 中日新聞 朝刊社会面（23面） / 「がっこうがすき、さあ2がっき / 愛知避難のウクライナ児童、夏休み満喫も心に影 打ち上げ花火に身を固く」
- ・2022年11月4日 中国新聞 呉・東広島版（18頁） / 「日本語指導課題探る」
- ・2022年12月28日 読売新聞 夕刊（8面） / 「コロナ水際緩和で急増する外国人の子 学習支援が課題…日本語指導ボランティア頼み」
- ・2023年1月7日 日本経済新聞社 朝刊（1面） / 「公立高「外国人枠」なし73% 進学せぬ子、日本人の10倍」

- ・2023年3月22日 朝日新聞デジタル版／「日本語学習が必要な子へ、8言語で漢字を学ぶアプリを開発」  
[内藤稔准教授]
- ・2023年2月27日 毎日新聞 朝刊（12面）／「東京外大 外国人向け出産ガイド」

### 3.外部予算の獲得

#### <計画>

事業を実施するにあたり、随時プロジェクト公募等を確認し、外部予算による事業実施を目指す。

#### <実績>

「令和4年度高等学校等における日本語能力評価に関する予備的調査研究事業（文部科学省）採択

### 4.人材バンク構想

#### <計画>

言語文化サポーターの組織化の最終的な着地点として人材バンクの創立の可能性を探る。

#### <実績>

新たにウェブサイトからの申込みを可能にし、外語会とも連携して申込みの窓口を広げたことから、登録人数の総計（実数）が403名となり、昨年度より約160名増えた。言語数は昨年度より4言語増（マレーシア語、ノルウェー語、アラビア語、日本語）の40言語となった。延べ人数は617名で、昨年度より234名の増となった。

### 5.センター運営（社会貢献部門）

部門長、副部門長及び部門長が指名した部門員で組織する、多言語多文化共生センター多文化共生社会貢献部門・部門会議を開催して、社会貢献部門の業務を企画、実施及び推進する。

#### 【社会貢献部門会議メンバー】

小島 祥美	部門長
内藤 稔	副部門長
武田 千香	部門員
青山 亨	部門員
今井 昭夫	部門員
菅長 理恵	部門員
大津 友美	部門員
萩尾 生	部門員
三浦 吉永	部門員

## <会議開催実績>

・部門会議の開催

第1回	2022年4月6日(水)
第2回	(メール審議) 2022年5月17日~5月27日
第3回	2022年6月8日(水)
第4回	2022年7月6日(水)
第5回	2022年9月28日(水)
第6回	2022年10月26日(水)
第7回	(メール審議) 2022年11月18日~11月24日
第8回	2022年12月21日(水)
第9回	2023年1月18日(水)
第10回	2023年2月22日(水)
第11回	2023年3月16日(木)